

平成25年度 別海中央小学校の教育について(PTA総会資料)

平成25年4月21日

校長 住吉 幹城

1. 本校の教育目標

本校の教育目標

- ・よく考える子 (熟考)
- ・あきらめない子 (敢行)
- ・たくましい子 (健康)

2. めざす子ども像

・意欲をもち、深く考える子ども子 (知育)
・あきらめず、最後までやり抜く子ども (徳育)
・心身共に健康で、思いやりのある子ども (体育)

3. 学校経営の基本的な考え

本校の教育目標の達成をめざし、本校の実態を捉え、その結果を生かしながら、今日求められている力(知・徳・体)を子ども達につけていきます。

そのために、平成24年度に実施した学校評価や全国学力(学習状況)調査・標準学力テスト等の結果、日常的な学習等の評価を分析・検討し、また、平成23年度から始まった新しい教育の実施状況を確認、学力が着実に着くように授業の改善工夫を行っていきます。知育に加え徳育・体育・食育などでは基本的な生活習慣の確立の面からも家庭の協力が必要であり、これまで以上に家庭との連携を深めていきます。

4. 平成24年度の学校経営の成果と課題

子どもの実態は様々な方法で把握されますが、ここでは、全国(学力)学習状況調査・標準学力テスト(CRT)・各種アンケート・学校評価(年度末反省等を含む)などの分析と日常的な観察の受け、大きく実態を捉えてみました。その結果、①学力面では、着実な学力の向上が見られます。②学校生活面では、礼儀・あいさつ・思いやり・丁寧な物の扱い・約束や決まりを守るなどで良好な状態にあります。その反面、①学習面では国語科を中心とした「書く」力や学習への積極性・習慣化(家庭学習を含む)への更なる努力が必要です。②学校生活面では、落ち着いた生活や友達とのコミュニケーションなど子ども達が抱えている心配事への細かな対応が必要と考えています。

これらの成果と課題を積極的に生かしながら、平成25年度の本校の教育活動を進めていきます。

5. 平成25年度の経営の構想

平成25年度は次の点を念頭に置いて学校経営を行います。

- ① 平成24年度の成果を生かし、課題を解決する方向を打ち出します。
- ② 子ども一人一人の必要(教育的ニーズ)に応え、学年相応の学力をつけるための方策を考えます。(「学習規律・家庭学習の定着」を含みます。)